

令和8年3月12日

知事答弁実録

（教育委員会）

（問）今後の広島県全体の高校教育について

今後の広島県全体の高校教育を公立と私立でどのように組み立てていくのか、知事の所見を伺う。

（答）

今後、少子化が更に進展し、産業構造や社会システムも大きく変化することが見込まれるとともに、高校授業料無償化が進む中で、ともに公教育を担う公立高校及び私立高校がこれからの将来を見据えた社会に必要な人材の育成に向けて、教育の充実を図ることが、必要であると考えております。

こうした中、県立高校におきましては、全県的な観点から教育の機会均等を確保するとともに、AIなどのデジタル技術を活用して、ものづくり等の地域産業の成長を牽引する専門人材や、地域の持続的な発展を支える人材など、多様な人材を育成するため、最先端の学びを実現する一層の特色化・魅力化を進めることとしております。

また、私立高校におきましては、各学校が独自の建学の精神に基づき、県民の皆様の多様なニーズに応じた個性と特色のある教育活動を展開しており、県といたしましても、各学校の取組の支援等を通じて私学教育の振興にも努めているところでございます。

広島に育つ子供たちが、激しく変化する時代を生き抜く力を育んでいけるよう、今後、目指すべき社会の姿を、公立・私立が共有し、将来を見据え必要となる人材の育成など、相互に協力し合い、広島県全体の教育水準の維持・向上に取り組んでまいりたいと考えております。